

弘大出版会賞

第13回 弘前大学出版会賞表彰式



弘前

原発事故発生直後からの記録「福島に学ぶ」

柏倉名誉教授に表彰状

第13回弘前大学出版会賞に、嶋昭紘東京大学名誉教授・弘大名誉博士監修、柏倉幾郎弘大名誉教授が編著者を務めた「福島に学ぶ 放射線総合科学の表彰を受けた柏倉名誉教授(前列中央)

展開を目指して」が選ばれ、11日に弘大附属図書館で表彰式が行われた。

今回は、2020年1月～21年12月に刊行された5作品が審査対象。受賞した同書は、福島第1原発事故発生直後から支援活動や情報発信に取り組んだ研究者たちの記録となっており、柏倉名誉教授によると、「もともと専門分野ごとの研究について分担して執筆、というところだったが、みんな結果的に福島の原発事故を受けた活動が中心になっていた。それだけ、未曾有の事故から受けた体験は強烈で、マイルストーンともなっている」という。

表彰式では福田真作学長が「事故直後から、被災地の皆さんに寄り添いながらの関係者の精力的な取り組みが紹介されている」と述べ、柏木明子出版会編集長も「福島での取り組みや今後の課題について、専門外の人にも分かりやすく書かれている」と評し、柏倉名誉教授に表彰状などを贈った。(西尾瑛)

※この記事は陸奥新報社の提供です。

[問合せ先]弘前大学出版会

hupress@hirosaki-u.ac.jp

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。